

Color Gallery

2023 年版「化学の日」 缶バッジデザイン決定

最優秀賞



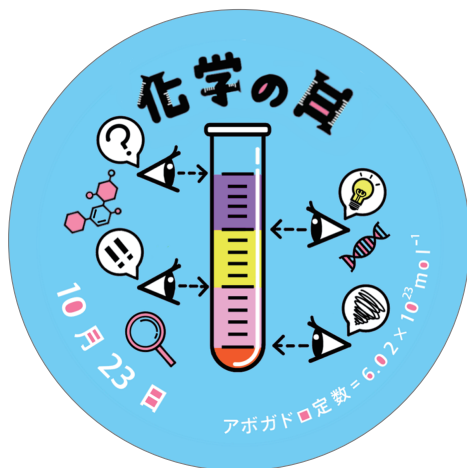
池田 杏彩さん

(都城市立祝吉中学校)

日本化学会（菅裕明会長）では「化学の日」（10月23日）「化学週間」（10月23日を含む週（月曜日～日曜日））を広める取り組みの一つとして、2015年より毎年「化学の日缶バッジ」のデザインを公募しています。今年も昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響で様々な環境変化がございましたが、994名の方にご応募いただき（内訳：小学生の部21点，中学生の部596点，高校生の部216点，一般の部161点）厳正な審査の上，下記のとおり決定いたしました。最優秀賞作品は2023年度版「化学の日缶バッジ」に採用され，全国で開催される化学の日，化学週間関連イベントで配布される予定です。なお，本年は審査過程で「コンセプト特別賞」「デザイン特別賞」が設定されました。おめでとうございます。

最優秀賞	池田 杏彩さん（都城市立祝吉中学校（宮崎県））
優秀賞	梅原 咲さん（武蔵野美術大学）
高校生特別賞	瀬島 陸月さん（山口県立下松工業高等学校（山口県））
中学生特別賞	渋谷 綾桜さん（南アルプス市立甲西中学校（山梨県））
小学生特別賞	山口 りささん（つくば市立竹園東小学校（茨城県））
コンセプト特別賞	藤本 怜央菜さん（筑波大学附属小学校（東京都））
デザイン特別賞	中村 葵さん（桜ヶ丘高等学校（山口県））

優秀賞



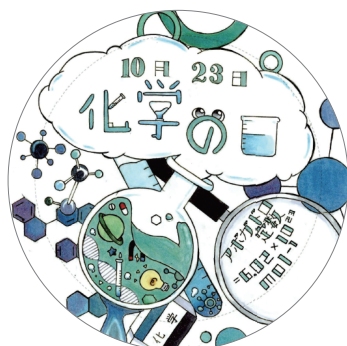
梅原 咲さん
(武蔵野美術大学)

高校生特別賞



瀬島 陸月さん
(山口県立下松工業高等学校)

中学生特別賞



渋谷 綾桜さん
(南アルプス市立甲西中学校)

小学生特別賞



山口 りささん
(つくば市立竹園東小学校)

コンセプト特別賞



藤本 怜央菜さん
(筑波大学附属小学校)

デザイン特別賞



中村 葵さん
(桜ヶ丘高等学校)

最優秀賞作品は 2023 年度版「化学の日缶バッジ」に採用され、
全国で開催される化学の日、化学週間関連イベントで配布される予定です。
バッジ配布について興味がある方は pr@chemistry.or.jp までお問い合わせください。

審査委員長 玉尾 皓平 日本化学会 元会長/豊田理化学研究所所長
審査員 塩谷 光彦 日本化学会 筆頭副会長、広報委員長/東京大学教授
塩野 毅 日本化学会 副会長、教育・普及部門長/広島大学教授
渡部 智博 日本化学会 教育・普及部門 普及・交流委員長/立教新座中学校・高等学校教諭

※「化学の日」とは

日本化学会、化学工学会、新化学技術推進協会、日本化学工業協会の4団体の共同提案で、10月23日を「化学の日」、10月23日を含む週(月曜日～日曜日)を「化学週間」と制定しています。アメリカでも昔から「Mole Day」として親しまれており、「アボガドロ定数：1molの物質中に存在する粒子の数＝ 6.02×10 の23乗」に由来しています。化学や化学産業が社会生活に大きく貢献していることをみなさんに知っていただき、化学を盛り上げていくことを目的としています。

Color Gallery

新・講座

地場産業に基づく化学

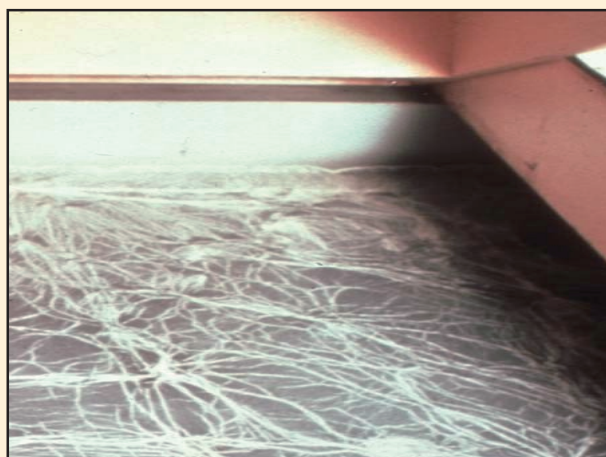
今も息づく半田の赤酢

赤野裕文



■江戸時代の握り寿司 (P338, 図 1)

すし飯の重量は現在の約 2.5～3 倍の大きさであった (吉野鮨本店所蔵)。



■表面発酵法 (P339, 図 4)

表面発酵法では、液面の酢酸菌膜でアルコールが酢酸に酸化され、食酢が製造される (画像: Mizkan Holdings 所有)。